

Life
ライフアンドジョブ
and
Job
vol. 10

今回訪問したグループ
すくすくあぐりネット

男女が共に活躍している
元気な市内企業などを紹介します



代表 伊與田 明子さん

すくすくあぐりネットは、子育て中の20代〜40代の女性で構成される若手農業者グループです。主な活動として「ファーマーズマーケット」と、横浜市へ旬の野菜を宅配便で送っています。メンバーは栽培作物も販売ルートも違い、普段あまり交流がない人同士。SNSを通して、疑問や悩みを共有したりアイデアを出し合ったりして、みんなのやる気向上につなげています。私が本格的に農業を始めたのは、3人目の子どもが生まれた8年前。農家の両親を手伝ううちに、自分の名前で産直に野菜を出すようになりました。大変なこともあります。自分の野菜を選んでもらえるのはうれしいですね。今月末で私は代表を退きますが、若い人たちのアイデアで、農業をもっと楽しくしてほしいと願っています。



▲ファーマーズマーケット



▲季節のとれたて野菜をお届けします

※生産者が農産物を持ち寄り直接販売する形態のお店。市役所・酒田市社会福祉協議会（新橋二丁目）で月1回開催しています。

【組織の概要】

会員数/14人(全員女性)
活動内容/野菜・加工品の販売
フェイスブックページ/<https://www.facebook.com/sukusukuaguri0831/>



▲フェイスブックページQRコード

◎農業の魅力

●一般企業とは異なり時間の制約がないので、子育てや介護とも両立しやすいと思います。子どもが見えるところで作業できます。

●以前よりも機械化・情報が進み、女性でもアイデア次第で楽しみながら農業に取り組みます。
●働いた分だけの利益があり、がんばりが目に見えます。

伊與田さんに聞きました！

みんなて
ごみ減量
大作戦¹⁰
「ごみの処理にはお金がかかる」



岡市環境衛生課管理係
☎31-0933

本市のごみ処理には、どれくらいのお金がかかっているか知っていますか。

「ごみの分別だけ関心あつけど、ごみの処理さ、どんだけお金かかっちゃうの、考えだごどねけの」というのが、昨年開催した「ごみ減量とリサイクルの推進」についての説明会・意見交換会の参加者の感想でした。

本市のごみ（一般廃棄物）は、市などが収集・運搬し、酒田地区広域行政組合で焼却や埋め立ての処理をしています。

平成28年度のごみ処理にかかった経費は、年間約9億6千万円。これを人口で割ると、1人当たり約9千円。また年間の総ごみ量で割ると、1ト当たり約2万2千円かかっています。

酒田地区広域行政組合のごみ処理施設（焼却炉）は、約100億円かけて建設され、平成14

年度から稼働しています。当初この施設は、20年間使用する予定でしたが、更に15年以上使用できるように、来年度から約45億円をかけて設備改良工事をする計画があります。また同組合の最終処分場（埋立地）は、埋め立てできる残容量が4分の1以下になっています。

ごみを減らして、ごみ処理施設の延命化と維持管理費の削減を図る。そして、来るべき新たなごみ処理施設を建設する際には、今よりコンパクトなごみ処理施設にして、建設と維持管理にかかる経費を減らせるよう、ごみを分別して減らしていくことは重要なことなのです。「ごみの処理には、お金がかかる」ということを忘れないでください。